

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こばんはうすくら広島府中教室（放課後等デイサービス）
------	----------------------------

公表日 令和8年1月20日

配布数

31 回収数 26

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2	1	1	広々としている子供も過ごしやすいと感じます。 新しく広々としてきれい	教室内の模様替えやロッカーの配置を工夫しながら子ども達の活動スペースを十分に確保できるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22			4	職員さんの数多く安心です。 多くのスタッフの方に見守って頂いています。	職員配置に関しては、指定基準を満たしながら、配置を充実していくようにしていきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1		2	最近あまり教室へ行く機会が少なくなったのでよく分かりません。	参観日等を企画し、教室内の設備や子どもの様子をよりわかるようにしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2		1		毎日清掃を行なながら、感染対策を行なっています。
適切な支援の提供	5	十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている	25			1	子どもの特性、性格を把握されて その時々で対応してくださっています 日々の活動内容を、その日のうちにHUGにて連絡してもらえるので 十分支援をしてもらっていると感じます。	今後も活動の様子等をHUGや送迎時にお伝えしていきます。また、研修等を行なながら支援の質を高めていけるようにしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1				支援プログラムはこばんはうすのホームページにありますので、確認をしてみてください。
	7	こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1		1		モニタリングやアセスメントを行なながら、利用児童に合わせた個別支援計画を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1		1		アセスメントを行い、利用児童に合わせた具体的な支援内容を設定していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	2				行った活動に関しては、HUGで共有していきますのでご確認をお願いします。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	4			活動内容は様々で 家庭ではできないことを体験させてもらいます。	すべてむぼくすを中心に、戸外遊びや製作等を組み込みながら利用児童が飽きがないように活動プログラムを行なっています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	4		12		夏まつりや公園等で地域の子どもと関わる時間を設けています。イベントについては随時HUGでご案内します。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1		1		何かご不明な点がございましたら事業所までご連絡ください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1			支援内容は適切かつ、丁寧な説明があります。	専門用語を使わず、わかりやすいように説明を行なっています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	3		3	今年は参加できませんでしたが、案内・報告がありました	今後も家族同士で関わる機会を提供できるようにイベントなど企画していきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1			看護士の先生に体調等の対応について、送迎時等で気軽に相談できる機会があるのでありがたいです。 文書にて、事細かく、その日の様子がわかる。	今後もHUGや送迎時にお子様の様子等を伝えています。何か気になることがありますしたら事業所までご連絡をお願いします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26					半年に1回以上モニタリングを兼ねて面談を行なっています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	3			モニタリングで助言をいただけています。	今後も、ご家族の意向を大切に支援を行なっていきたいと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18		2	6	兄弟同士の交流の機会はわかりません。 イベントに姉も参加てきて、一緒に楽しませてもらっています。	夏まつりやクリスマス会等で、保護者同士の交流や、ご兄弟も参加できるイベント等の機会を作なっています。

	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		4	アプリがあるので連絡をしやすいです。	面談の機会はいつでも作りますので、ご気軽にご相談して頂けたらと思います。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2		2		出来る限り専門用語等用いずにわかりやすくお話しできるように努めます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23	1		2	いつも丁寧に発信して頂いています。 (その日の活動についてetc)	HUGやホームページの必要な情報を更新していきますのでご確認をお願いします。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			1		個人情報は鍵付きの書庫に保管するなど十分に気を付けて管理していきます。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23			3	先生方が講習をきちんとされていると思います。	マニュアルは事業所玄関にありますので、来られた際に確認して頂けたらと思います。訓練は行った際にHUGで訓練報告をしていますのでご確認をお願いします。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25			1	定期的に訓練されていると思います。 定期的に訓練を行って素晴らしいと思います。	安全計画に基づき、訓練を実施しています。行った訓練に関してはHUGで報告していますのでご確認をお願いします。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26					安全計画は事業所玄関にありますので、来られた際に確認してもらえたたらと思います。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1		3	以前子供がお友達の物を壊した時に、きちんと説明を受けました。	今後も事故等が起こった際は、状況について報告をさせて頂きます。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	26					これからも、子ども達が安心して通える環境を整えていきたいと思います。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	6			スタッフさんもお友達も大好きで楽しみにしています。 楽しかった、〇〇したんだ と教えてくれる。 どこに出かけてるのか どの先生に会えるのかいつも楽しみに出かけています。 こばんでの活動やお出かけなど、とても楽しみにしています。 毎週土曜日は、8時から玄関に座って待っているので、楽しみなのは間違いません。	これからも、子ども達が楽しめる様に活動プログラムを工夫していきたいと思います。
	29 事業所の支援に満足していますか。	26				色々なイベント、お出かけもあり感謝しています。 いつも利用後は、笑顔で帰宅します。ありがとうございます。 いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。 今日は、こんなことしていました、など詳しく書かれていて助かります。いつもありがとうございます。 子供の特性をよく理解し、支援をしていただけていると思います。	これからも、職員一同で創意工夫していきながら、子ども達やご家族の皆様が楽しく過ごせるように支援を行っていきたいと思います。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こばんはうすさくら広島府中教室（放課後等デイサービス）				公表日 令和8年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		ロッカーの配置や机を置く場所を工夫し、広いスペースを確保するようにしている。	児童人数と職員人数によっては、狭く感じることがある。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>		利用児童の障害程度によって、職員人数が少なく感じることがある。職員配置や環境を整備しながら働き易い環境を整える。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		絨毯の色を変え、利用児童に場所をわかりやすいように工夫している。	共有スペースの段差が高い。短くても手すりなどの補助がほしい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日掃除を行い、感染対策を行っている。空気を入れ替える窓少ないので、空気清浄機を活用している。	利用児童の様子を見ながら扉を開け、空気の入れ替えを定期的に行っていく。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		状況に応じて静養室に移動して支援できるようしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・定期的に機会を設けており、反映するようしている。 ・毎日その日の職員で振り返りの時間を作っている。内容については、業務日報等に反映している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者向けの評価表を職員で共有しながら業務改善につなげられるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		振り返りの時間で、気になる事やどうしたら良いか等の相談ができる場を作っている。	職員面談を定期的に行っていくようとする。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		現在、第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・ジョブメドレー等を活用しながら研修の機会を設けている。 ・フランチャイズ研修を受講できる機会を設けている。	
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムはホームページに公開している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントの情報等職員に共有しながら計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員への聞き取りを行いながら、支援内容を検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		HUGでいつでも計画を確認できる環境を作っている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントツールを標準化し、定期的に見直しを行うようにしている。	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援内容やねらい、項目がわかりやすいように計画を作成している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムを担当が立案し、他の職員の意見を聞きながら本案にしている。	負担が一部の職員に集中しないように連携を取っていく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		すべてむぼっくすを中心に、他の活動を組み込むようにしている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・利用児童が不安定な時は、個別対応を行いながら活動に参加できるようにしている。 ・一人で行う活動、集団で遊ぶ活動を入れながら支援を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		利用児童が帰ってくる前に支援内容や役割分担を確認している。また、ホワイトボードに内容や役割分担を記載している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りを行い、職員間で情報共有を行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		HUGで支援の様子等を記入し、職員がいつでも確認できる環境を整えている。	職員全員が集まって話し合う機会をあまり設けられていない。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に1回以上モニタリングを行い、計画に見直しを行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		固定化しないように、活動内容を工夫するようしている。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子ども同士でどうやって遊ぶか等決める機会を作っている。その中で指導員が入りながら話の進行を補助している。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と現場職員で参加するように調整している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	必要に応じて、関係機関と情報共有を行うように体制を作っている。	連携して支援を行うまでの関係性を築けていないので、情報共有を通して関係性を構築していくようにする。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校に迎えに行った際に、様子等を確認するようしている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	系列の児童発達支援とは情報共有や支援内容に関して確認を取れる体制を構築している。	保育園等との情報共有ができないので、保護者を通して共有できる機会を作っていくようにする。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		対象児童がいないが、今後必要に応じて情報提供できるように体制を作っていく。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	センターが主催している研修に参加している。	センターとの連携を図る機会を設けられない。今後必要に応じて相談していくようにする。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○	公園などで地域の子どもと一緒に遊ぶ機会を設けている。	児童館との交流を行っていないが、今度必要に応じて検討していく。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		管理者か児童発達支援管理責任者が参加するようしている。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		HUGや送迎時に保護者に様子や気になることが内か等話をするようしている。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族支援は行えてないが、今後希望に応じて企画していくか検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		必要な書類や規定等に関して、丁寧に説明するように心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングとアセスメントを通して、家族の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画を作成する度に、保護者に説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		希望があれば、日程調整し面談を行うようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会等を開催していないが、夏まつりやクリスマス会で家族単位で交流できる機会を設けている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		受付窓口を整備しているが、HUGや送迎時にも苦情や不満に関して言われた際は適切に対応するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HUGで活動内容やイベント企画等を通知するようにしている。	インスタはあるが、更新ができない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関しては鍵付き書庫等で管理するようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		専門用語を出来るだけ用いないように話をするようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		夏まつりで地域の方も参加できるように企画運営している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		必要なマニュアルは整備し、マニュアルに基づき訓練を行うようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを整備し、研修及び訓練を行うようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントの際に服薬状況の変化がないか等確認するようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		対象児童がいないが、いつでも対応できるように体制を作っていくようにする。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に乗っ取り、研修及び訓練を行うようにしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		研修や訓練の報告をHUGで行うようにしている。また、報告書等を事業所入口に置き、いつでも閲覧できるようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを業務日報に記載し、確認できるようにしている。	対応について十分に話し合う時間を確保できていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		ジョブメドレーで研修を行えるようにしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会で、身体拘束をいつ行うか等話し合い決めている。 計画に記載が必要な児童はいないが、どのように記載するか等は決めている。	